

問い合わせ先

第八管区海上保安本部 海洋情報部

監理課 専門官 堀 浩二

Tel:0773-75-7373(直通)

Tel:0773-76-4100(内線2511)

平成18年11月30日

第八管区海上保安本部

行く年来る年！ 日没マップ

八管内の2006年大晦日の日没&2007年初日の出時刻情報

第八管区海上保安本部では、管内の主な都市、山及び灯台の2006年最後の日の入り時刻をまとめた「八管大晦日の入りマップ」と、2007年最初の日の出時刻をまとめた「八管初日の出マップ」を作成し、12月1日からインターネットで公開します。

また、携帯電話でも同様な日没時刻をご覧になることが出来ます。

なお、日没の方向はほぼ西南西に、日出の方向はほぼ東南東になりますが、その方向に山などの障害物があれば日没時刻は計算の時刻より早くなり、日出時刻は計算の時刻より遅れます。(別添の標高による日没時刻の変化参照)

◎八管日の入りマップ

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN8/hatsuhi/sunset.html>

◎八管初日の出マップ

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN8/hatsuhi/sunrise.html>

◎携帯電話用

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN8/hatsuhi/list.html>

なお、日本各地の主要都市における2007年初日の出時刻については、海上保安庁海洋情報部のインターネットホームページでご覧になることが出来ます。(各地の日月出没時刻等の計算も可能です。)

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KOH0/hatsuhi/>

(参考)

○海上保安庁と暦の関わり

海上保安庁では、船舶の航行安全のために必要となる航海暦(天測暦・天測略暦)を発行しており、そのために必要な天体観測を行い、航海暦に掲載する太陽や月等天体の出没時刻や位置などを算出しています。

○日没の定義

天文学では、太陽の「上縁」が没することを日没の定義としています。

八管日の入りマップ

八管大晦日の入りマップ



八管初日の出マップ

八管初日の出マップ



携帯電話での表示例

八管日の出の入り情報

※東南東方向に障害物等があると、日出時間が遅れることがあります。
 西南西方向に障害物等があると、日没時間が早まる場合があります。
 見る高さによって、日出没時間が変わることがあります。

- [雄島灯台\(東京都:福井県\)](#)
- [福井市\(福井県\)](#)
- [風戸崎灯台\(福井県\)](#)
- [立石神社\(福井県\)](#)
- [野賀市\(福井県\)](#)
- [野原島\(福井県\)](#)
- [京都市\(京都府\)](#)
- [青葉山\(京都府\)](#)
- [多賀山\(京都府\)](#)
- [舞鶴市\(京都府\)](#)
- [伊弉利神社\(京都府\)](#)
- [大江山\(京都府\)](#)
- [島岡市\(兵庫県\)](#)
- [津野崎灯台\(兵庫県\)](#)
- [鳥取市\(鳥取県\)](#)
- [長尾森灯台\(鳥取県\)](#)
- [大山\(鳥取県\)](#)
- [米子市\(鳥取県\)](#)
- [美津原灯台\(鳥取県\)](#)
- [津波市\(鳥取県\)](#)
- [松江市\(鳥取県\)](#)
- [志雲市\(鳥取県\)](#)
- [志雲寺御崎灯台\(鳥取県\)](#)
- [津原市\(鳥取県\)](#)
- [源崎神社\(鳥取県\)](#)

本庁海洋情報部提供情報
[日本各地の主要都市](#)

地名をクリック

日出没時刻 表示例

雄島灯台(標高:29 m)

2006年12月31日の日没時刻:16時51分
 2007年1月1日の日出時刻:7時6分

[週間天気予報\(気象庁ホームページ\(PC版\)へ\)](#)

[携帯電話用 日出没情報TOPに戻る](#)

[日出没マップ\(PC版\)へ](#)

参考資料

標高による日出・日没時刻の変化

下のグラフは、日の出または日の入りをご覧になる場所の高さによって、日出没時刻がどれだけ早まるかあるいはどれだけ遅れるかを示したものです。

グラフの縦軸は、標高（単位はメートル）を示し、横軸は標高によって変化する日出没時間（単位は分）です。グラフ中の7本の赤線は、ご覧になる場所の緯度5度毎に、標高と時間の関係性を計算した線です（北緯20°～50°の範囲）。各地の代表的な山については、その値をグラフ中の青点で示しています。

<計算例> 大山（鳥取県）山頂における補正時間

大山は、北緯35°22'、標高1729メートルですから、グラフの右から4番目の赤線（35°の線）の標高1729メートルの位置のわずかに右側にマークをし（下図）横軸目盛りを読むと、補正時間は約9分と求まります。実際の日出没時間はこの値を加減したものとなります。

